

劇評を書く セミナー

東京芸術劇場コース2014

ワンダーランド(小劇場レビューマガジン)は、「劇評を書くセミナー 東京芸術劇場コース2014」を開きます。東京芸術劇場で上演される選りすぐりの舞台を見る。劇評を書く。演劇に詳しい講師の協力を得てじっくり話し合う。公演のおもしろさと奥深さを、少数ゼミ形式で一緒に探りたいと思います。前後期全6回。みなさんの参加をお待ちしています。聴講も可能です。

■主催 ワンダーランド(小劇場レビューマガジン)
■共催 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

【前期】

第①回 5月10日(土) 18:30~21:00

講師:大岡淳(演出家、劇作家、批評家)

範宙遊泳「うまれてないからまだしねない」

4月19日⇒27日

第②回 7月5日(土) 14:00~16:30

講師:徳永京子(演劇ジャーナリスト)

マームとジプシー「ハハハ かえりの合図、
まっていた食卓、そこ、きっと-----」

6月8日⇒22日

第③回 9月13日(土) 14:00~16:30

講師:岡野宏文

(元新劇編集長、ライター&エディター)

はえぎわ(劇団15周年公演、タイトル未定)

8月23日⇒31日

【後期】

第④回 10月11日(土) 14:00~16:30

講師:佐々木敦(批評家、早稲田大学教授)

サンプル(タイトル未定)9月後半

第⑤回 12月27日(土) 14:00~16:30

講師:林あまり(歌人、演劇評論家)

イキウメ(タイトル未定)11月後半⇒12月

第⑥回 2015年3月14日(土)
14:00~16:30

講師:扇田昭彦(演劇評論家)

Roots Vol.2「狂人なおもて往生をとぐ」

(清水邦夫作、熊林弘高演出)2015年2月

*公演日程などの詳細は、ワンダーランドや東京芸術劇場、劇団のサイトをご覧ください。

【定員】

20名(一括受講+個別回受講)

受講者は劇評・レビュー(2000字~4000字)を提出します。
聴講参加も歓迎です。

【受講料】*公演チケットは各自お求めください。

- 一括
 - 前期3回 7,500円
 - 後期3回 7,500円
 - 前後期全6回 13,000円
- 個別(1回) 3,000円
- 聴講(1回) 2,000円

【申し込み】

ワンダーランド特設申し込みサイトから>>
<http://www.wonderlands.jp/>

【締め切り】

一括受講:5月7日(水)

個別受講は各回の前日(要予約)
定員に達し次第募集を締め切ります。

【会場】

東京芸術劇場ミーティングルーム7(6階)



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

(JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より
徒歩2分。駅地下通路2b出口と直結)

【問い合わせ】

ワンダーランドセミナー係 (info@wonderlands.jp)
Tel/Fax:042-422-5219

講師紹介(50音順)



大岡淳(おおおか・じゅん)

1970年兵庫県生まれ。SPAC・静岡県舞台芸術センター文芸部スタッフ、ふじのくに芸術祭企画委員、はままつ演劇・人形劇フェスティバルコーディネーター、静岡文化芸術大学非常勤講師、河合塾COSMO東京校非常勤講師。最近の演出作品―上杉清文・内山豊三郎『此処が彼方処か、はたまた何処か?』(SPAC)。



岡野宏文(おかの・ひろふみ)

1955年横浜市生まれ。早稲田大学文学部仏文科学。白水社の演劇雑誌「新劇」編集長を経てフリーのライター&エディター。「ダ・ヴィンチ」「サファリ」「ダヴィンチ・ナビ」「毎日新聞 大阪版」などの雑誌、新聞に書評・劇評を連載中。主な著書に「百年の誤読」「百年の誤読 海外文学編」「読まずに小説書けますか 作家になるための必読ガイド」(いずれも豊崎由美と共著)『ストレッチ・発声・劇評篇(高校生のための実践演劇講座)』(扇田昭彦らと共著)『高校生のための上演作品ガイド』。単行本の企画編集なども手がける。



佐々木敦(ささき・あつし)

1964年生まれ。HEADZ主宰。早稲田大学文学学術院教授。映画美術学校批評家養成ギブス主任講師。劇場創造アカデミー講師。文学、映画、音楽など幅広いジャンルで批評活動を行なっているが、このところ演劇への関心が深い。主な著書に「シチュエーション」「批評時空間」「未知との遭遇」「即興の解体／懐胎」「ニッポンの思想」など。



扇田昭彦(せんた・あきひこ)

1940年東京都生まれ。朝日新聞芸芸部記者、編集委員として長く演劇を担当した。NHKテレビの演劇番組の司会も務めた。現在、朝日新聞のほか、「ダンスマガジン」「ミュージカル」に劇評を連載執筆。武蔵野美術大学造形学部特別講師。主な著書に『日本の現代演劇』『舞台は語る―現代演劇とミュージカルの見方』『現代演劇の航海』『唐十郎の劇世界』『蜷川幸雄の劇世界』『井上ひさしの劇世界』(国書刊行会)など。



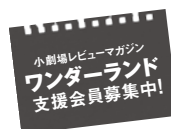
徳永京子(とくなが・きょうこ)

1962年東京都生まれ。小劇場から大劇場まで幅広く足を運び、朝日新聞劇評のほか、「シアターガイド」などの雑誌や公演パンフレットを中心に原稿を執筆。東京芸術劇場運営委員および企画選考委員。「徳永京子プロデュース クロストーク150分 最前線の演劇知」を企画、またワンダーランドの劇評セミナー講師を3期担当。著書に『我らに光を』(河出書房新社)、藤原ちから氏との共著に『演劇最強論』(飛鳥新社)。



林あまり(はやし・あまり)

1963年東京都生まれ。大学在学中から短歌で注目された。演劇活動にも関心を寄せ、主に小劇場のレビューや評論を新聞、雑誌で手がける。NHKテレビの演劇番組の司会も。成蹊大・武蔵野大・多摩美術大非常勤講師。また作詞に坂本冬美のヒット曲「夜桜お七」などがある。歌集に「MARS☆ANGEL」「ベッドサイド」「スプーン」など。現在、「テアトロ」誌でリレー劇評を隔月連載中。



▽ワンダーランドとは

小劇場レビューマガジンとして2004年創刊。これまでの寄稿者は約200人、掲載記事は1600本を超える。webサイトとメールマガジン版で発行。劇評サイトとして機能することももちろん、積み重ねたレビューは作品のアーカイブとしての役割を果たしている。